様式３（2020.06改）

作成日　令和3 年　11月　26 日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392900029
事業所名	グループホーム長寿の郷　かりや

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	自治会に加入し、回覧板を通じて地域の情報を得ている。近隣の住民とは挨拶や立ち話する等、馴染みの関係性を築けている。施設前の水路等の掃除を積極的に行い、地域に貢献している。施設見学希望に対応し、その方に見合った介護サービスのアドバイスをして認知症専門知識を活かし貢献している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は、年6回定期的に開催している。家族、利用者、民生委員、自治会長、包括担当者、市職員で構成し、事業報告や意見交換の場として活用している。緊急事態宣言解除後は参加者を招集し、法人の経営統合に関する説明会等を行った。新体制の運営への理解や協働関係を深めている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市長寿介護課には介護更新手続き等で窓口に出向き直接話をする機会があり、些細な事でも相談できる良好な関係を深めている。包括支援センターとは担当部署と情報交換や営業相談等でつながり、協働関係を築いている。市町村主催の研修の情報はSNSで情報収集したり郵送で案内が届き、実践者研修等必要な研修へ参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	毎月の請求書や推進会議の議事録の郵送物に、個別で写真付きのお便りを同封し、利用者の日常の様子を伝えている。何かあれば電話やメールで報告し、家族の意向を把握し、意見はサービスに反映させている。苦情窓口を設置し、意見や要望を受け止める仕組みがある。面会は家族や利用者の希望を考慮し、感染対策を取りながら状況に応じて実現させる等、利用者や家族の思いや意向を叶えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総　合　評　価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価		○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									